

「親子ふれあいミーティング」開催事業

青少年が心豊かに育まれるために、望ましい親子関係を考える「親子ふれあいミーティング」を開催して、親子の絆を強め家庭や地域の教育力を図り、明るく楽しい家庭づくりと地域社会全体で青少年を育む地域づくりを進めました。

開催に当たっては、指定を受けた青少年育成市町村民会議が中心となって、市町村PTA、学校や地域の青少年関係団体による運営委員会を組織し数多くの会議を重ね、それぞれ地域の特色を活かした内容となりました。当協会からは、各委員会へ担当役員をアドバイザーとして派遣し、実施団体と協働で内容の充実を図りました。

10/28 (日)

鹿嶋市 鹿嶋市青少年育成市民会議

話し合いのテーマ

- ・子どもの夢について考えよう
～夢を育む家庭の在り方～

プログラムで工夫した点

- ・市PTA連絡協議会研修会と合同で実施した。
- ・企画の段階から高校生の意見を取り入れた。
- ・事前アンケート結果を集計し当日の資料とした。

主な内容

- ・(午前中) 親：講演会、子ども：高校生会によるレクゲーム
- ・(親子昼食会後) 講師(茨大長谷川幸介准教授)コーディネーターによる全体会

参加者の声

- ・普段、夢について親子で話し合う機会が無かったので良い機会に巡り会えた。
- ・子ども親も率直な意見を出し合えたのが良かった。
- ・親が、良い大人、良い親になることが良い家庭を築くことである。
- ・親子の思いはいつの時代も不偏であることに気づいた。



カードで全員の意思表示

1/27 (日)

潮来市 青少年育成潮来市民会議

話し合いのテーマ

- ・子ども：親に望むこと 親：子供に期待すること

プログラムで工夫した点

- ・雰囲気や和らげるために、レクゲームを取り入れた。
- ・本音で話し合いがもてるよう、子どもグループと親グループに分けた。
- ・次年度実施につなげるためにも分科会の司会進行等を、参加者対象以外のPTA役員に依頼した。

主な内容

- ・分科会、全体会、参加者を代表しての感想

参加者の声

- ・子ども達の環境が変化している中で、家庭でのあり方を考える良い機会になった。
- ・これからも子どもとの時間を大切に みんなとふれあう楽しいレクゲームし、コミュニケーションを図っていきたい。
- ・子どもの意見を聞き、家庭の中で見直す必要があると感じた。
- ・子どもと向き合う時間、話し合いのできる環境等がとても重要なものだと感じた。
- ・家庭、学校、地域社会がともに理解し、認め合うことの大切さを再認識した。



2/23 (土)

日立市 日立市青少年育成推進会議

話し合いのテーマ

- ・子から親へ、親から子へ「もの申す」
～家庭、学校、習い事、友達関係、ゲーム、将来の夢などについてトコトン楽しく話し合う～

プログラムで工夫した点

- ・櫛方小及び山部小の対象者となった児童と親全員からアンケートを実施し、この集計結果を基に分科会、全体会の話し合いに生かした。
- ・参加者の緊張をほぐすために、話し合いの前にレクゲームを行った。
- ・分科会の意見は、模造紙に意見を書いた付箋を貼り付け、内容ごとに分類し、これを全体で発表した。
- ・育成指導者だけの「地域部会」を設けた。

主な内容

- ・レクゲーム、分科会、全体会

参加者の声

- ・自分の思っていることがたくさん言えて楽しかった。
- ・最初は嫌だったけれど、時間が経つにつれ楽しくなってきた。
- ・大人の気持ちもわかった。
- ・同じ内容で、思春期に入る時期の中学生対象にもやってほしい。
- ・これからの子育てに役立てていきたい。
- ・子どもの意見が面白い、ズバリ！ハッ！としました。



意見を分類しての話し合い